

## グラン・パレの栄光

セーヌ川沿いに散歩をしていた。アレクサンドル 3 世橋の超豪華な橋の袂に、遠くからでも一際目立つ建物があった。鉄骨とガラス張りの丸い屋根が特徴となっている。これは 1900 年のパリ万博開催の際に建設されたグラン・パレ（フランス国立の企画ギャラリー）であった。

正面入口に行ってみると、近隣に位置する多くの有名美術館では見られなかった光景を目にした。それは恐らく魅力ある大変なイベント展示が開催されているのであろう、長蛇の列となって溢れていた。文字だけの看板、垂れ幕であるため私には理解不能であった。

万博当時のフランスは、世界に誇れる栄光の 100 年（1800 1899）を回顧する美術展をグラン・パレで開催している。建物内では 29 の展示室に 3000 展を超える作品が展示された。世界の誰もが知るビッグネームの画家の作品が時代や傾向ごとに展示。更にはこの時期に印象派も正式にフランス美術史の一部として認められ、モネ、ルノワール、ドガ、シスレー、セザンヌらの作品が一室にまとめて展示されている。

建物にはいくつもの素晴らしい彫刻が施されていた。その中の一つの立像は「建築」「絵画」「彫刻」「音楽」の 4 大芸術を表しているとか。そして入口には「フランス芸術の栄光のために共和国政府はこの記念宮殿を建てた」とあった。

芸術に縁遠かった私も、妻の影響を受けてフランスをパリを一層興味深く、楽しむことができた。短期間ではとても満足のいく滞在ではなかった。いつの日か…。 撮影 2009 年冬

